

総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」

輝かしい未来へ向かう

「新たな羅針盤」

町では、令和4年度から向こう10年間を見据えた、新しい総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」を策定しました。プランに掲げる町の将来像や町民の皆さんからの期待の声を紹介します。

総合計画の役割

総合計画とは、まちづくりの目標や方向性、施策を示すもので、町行政の最上位計画となるものです。このたび、町では、令和4年度から向こう10年間を見据えた、新しい総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」を策定しました。

本計画は、東北中央道相馬福島道路の全線開通によるインフラの充実など、「こおり新時代」の到来を実感したその先の輝かしい未来の実現に向けた「新たな羅針盤」となる計画です。この特集では、策定した本計画の概要や計画に込めた思いを紹介します。

なお、計画書については、今後、令和4年3月までに印刷・製本を進め、完成次第、各世帯へ概要版を配布する予定です。

目指す将来像、あるべき姿

本計画は、「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」を将来像に掲げるとともに、図1のとおり、6つの方針と町のロゴマークにちなんで、サブタイトルを「6恵6幸こおり 未来プラン」としています。「幸せを実感できる」は、先人が築き、大切に継承してきた地域資源（自然・歴史・文化など）に町民が誇りと愛着をもち、

図1：計画のサブタイトル



6恵6幸こおり 未来プラン

サブタイトルに込めた意味

町のロゴマークは、「町民のあたたかさ」や「桃」「半田山」などを表現した色や、「人と人」「過去と未来」とのつながりをイメージし、雪の結晶の形でもある「六角形」でデザインされています。

「六角形」は、バランス・調和の象徴で、亀甲模様のように、古来より縁起の良い形とされています。頭文字が桑折にちなんだ「K」で始まるキーワードから成る「6恵6幸」には、町民の「調和・安定」や「幸せ」、「過去と未来・人のつながり」への願いが込められています。

図2：計画の構成

基本構想
町が目指すべき将来像、10年後の町を目指す姿 長期的なまちづくりの方針
基本計画
基本構想の実現を図るための手段 (基本的な施策や事業)
施策の方向性 横断的・最優先に取り組む「重点プロジェクト」
実施計画
具体的手段（取り組み事業）

高橋宣博町長が語る、計画に込めた決意

みんなが幸せを実感できる 元気なまちを目指して――

本計画の策定経過

総合計画は、未来に向かうためのまちづくりの羅針盤です。本来最終年次の令和3年度を待たず、1年前倒しで新たな総合計画を策定する考えでしたが、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、コロナ禍後の社会情勢の変化に対応した計画とすべく、予定を変更し、今年9月の完成を目指して、策定作業を進めてきました。新しい時代に入った本町が、その先の輝かしい未来に向かって躍動する「桑折ならではの」の計画とするため、コンサルタント会社には委託せず、全職員一丸となって作業を推進し、8月20日の総合計画審議会からの答申を得て計画案を決定し、9月議会において可決承認されました。

計画策定にあたって

令和の時代は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、人口減少・超少子高齢社会や激甚・頻発化する自然災

害、ICTの発展、地方創生SDGsの推進など、多くの課題への対応が求められるため、激変する社会情勢にしっかりと向き合い、柔軟な思考でスピード感をもって、「変革と創造」を遂げなければなりません。

新総合計画は、若い世代の皆さんや各界各層の審議会委員の意見を反映し、6つの基本方針に基づく6つの重点プロジェクトを打ち出したことから、サブタイトルとして「6恵6幸こおり 未来プラン」と名付けました。コロナ禍の中で、町民の皆さんに直接考えを伝え、理解を求めることが難しい状況でしたが、今後もしっかりと丁寧な説明に努めながら、皆さんが「幸せを実感できる 元気なまち こおり」を目指して取り組んでまいります。

6つの重点プロジェクト

計画実現のため、重点的に取り組む項目は、次の6つです。
1 伊達桑折IC周辺の土地利用とと

もに、「献上桃の郷」の産地維持を推進し、産業が盛んな持続可能で元気なまちを目指します。

2 災害から町民の生命や財産を最優先に守るとともに、経済・社会活動が停滞しないように取り組み、安らぎのある生活環境づくりを目指します。

3 地球温暖化を防ぐ活動に取り組み、「SDGs推進の町宣言」に則り、環境に優しいまちを目指します。

4 「こおり健康楽会」の活動を中心に、健康づくり事業に取り組み、生涯にわたって心身ともに健康で元気に過ごせる健康長寿のまちを目指します。

5 目標・夢に向かって高い志をもち、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓く「桑折っ子」を育成し、将来のまちを担う人材づくりを目指します。

6 町の魅力を内外へ発信し、移住・定住促進施策に取り組む、「住み続けたい住みたい」と思われる心地いいまちを目指します。

重点プロジェクト

- 1 「21世紀の追分」推進プロジェクト
- 2 「安全安心なまち」推進プロジェクト
- 3 「環境に優しいまち」推進プロジェクト
- 4 「健康で生き生きと暮らせるまち」推進プロジェクト
- 5 「桑折っ子」育成推進プロジェクト
- 6 「心地いいまち」推進プロジェクト